

保護者の皆様

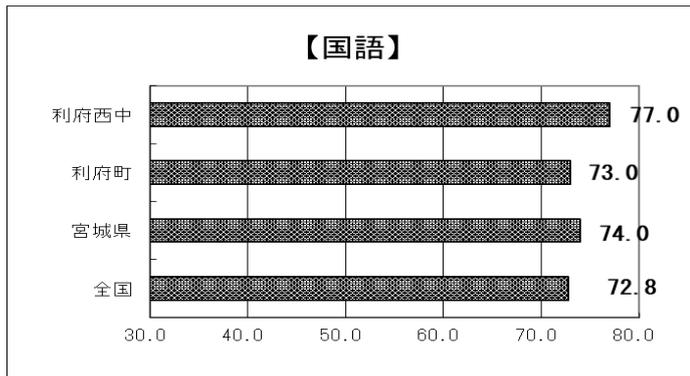
利府町立利府西中学校
校長 鹿野 宏美

令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果とこれからの取組

今年の4月18日(木)に、全国の公立中学校に通う3年生を対象に、「全国学力・学習状況調査」が行われ、その結果が各校に7月下旬に届きました。これに基づいて、この度、本校の生徒の学習や生活の状況について、良さや課題についてまとめましたので、お知らせいたします。

1 学力調査の結果

【国語】 平均正答率%

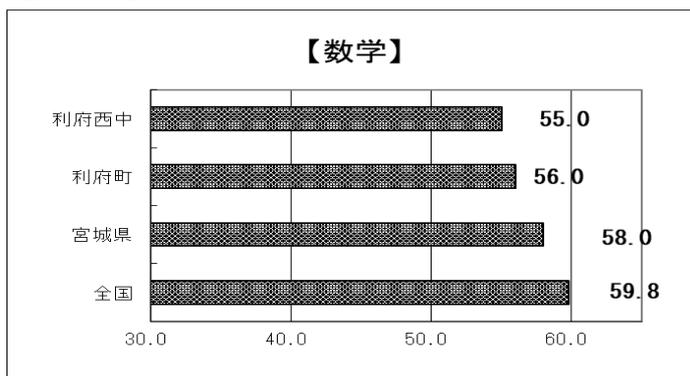


- ・国語については、全国の平均正答率を4.2ポイント上回っており、基礎・基本、活用力が確実に身に付いていることが分かります。
- ・「話す・聞く能力」の項目では全国平均を6.2ポイント、「書く能力」では3.3ポイント、「言語についての知識・理解・技能」では6.8ポイント、「読む能力」では1.7ポイント上回るなど、全ての項目で全国の平均正答率を上回りました。

具体的な学習状況 (◎よくできていた点 ●課題としてあげられる点)

- ◎ 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く問題について、正答率が高くなっていました。
- ◎ 相手に分かりやすく伝わる表現について理解する問題について、正答率が高くなっていました。
- 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ問題に課題が見られました。
- 話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ問題について課題が見られました。

【数学】 平均正答率%

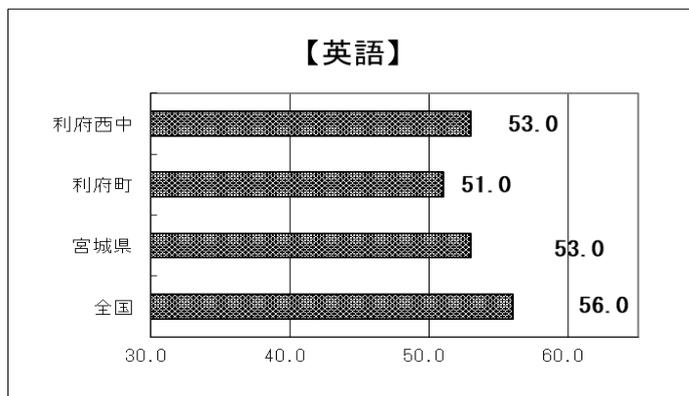


- ・数学については、全国の平均正答率を4.8ポイント下回り、課題があることが分かりました。
- ・領域では、図形が全国平均を0.1ポイント上回りました。数と式、関数、資料の活用では全国平均を下回り、特に関数の領域に課題が見られました。
- ・「数学的な見方や考え方」、「数学的な技能」、「数量や図形についての知識・理解」の項目について全国平均を下回り特に、数学的な技能について課題が見られました。

具体的な学習状況 (◎よくできていた点 ●課題としてあげられる点)

- ◎ 証明で用いられている三角形の合同条件を書く問題では、正答率が高くなっていました。
- ◎ ある予想に対して与えられた図が反例となっていることの説明として正しいものを選ぶ問題では正答率が高くなっていました。
- a と b が正の整数のとき、四則計算の結果が正の整数になるとは限らないものを選ぶ問題に課題が見られました。
- 反比例の問題から式を求める問題に課題が見られました。
- 冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点Pのy座標と点Qのy座標の差が表すものを選ぶ問題に課題が見られました。

【英語】 平均正答率%



- ・英語については、全国の平均正答率を3.0ポイント下回り、課題があることが分かりました。
- ・「聞くこと」の項目について全国平均を1.2ポイント上回りました。
- ・「読むこと」「書くこと」の項目では全国平均を下回り課題が見られました。
- ・「言語や文化についての知識・理解」では県平均と同等でしたが、全国平均を下回りました。

具体的な学習状況 (◎よくできていた点 ●課題としてあげられる点)

- ◎ある状況を描写する英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する問題では正答率が高くなっていました。
- ◎月ごとの平均気温を表したグラフを見て、その内容を正しく表している英文を選択する問題では正答率が高くなっていました。
- チンパンジーに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する問題に課題が見られました。
- 与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く問題について課題が見られました。

2 今後の取組について

- (1) 国語
 - 今後も授業において自分の考えをまとめることを行い、根拠に基づいて考えをまとめることを更に徹底していきます。
 - 書いた文章を必ず読み直し推敲させることを意識させ、自分の考えを基に話し合う場面を題材の中に設定していきます。
 - 話し合いの活動では目的に合った話し合いになるよう、形態の工夫や話し合いのスキルを高めさせていきます。
- (2) 数学
 - 数学的な技能に課題があることが分かったので、計算等の基礎・基本を確実に身に付けさせる手立てとして、繰り返し演習問題に取り組みさせます。
 - 与えられた課題を自ら書かせることにより、関心もたせたり、自分の考えを書かせたりすることに今後も取り組みさせます。
 - 基礎基本の定着と学び合いによる課題解決を意識して授業を行い、校内研究とも関連させ粘り強く課題に取り組みさせていきます。
- (3) 英語
 - 教師も生徒も英語を基本とした授業を行うとともに、即興で話す場面、間違いを恐れずに自分の思いや考えを伝える場面を増やし、コミュニケーションへの関心・意欲を高めさせていきます。
 - 授業において英作文の練習を重ねていきます。穴埋め形式や使用する語を挙げるなどし、まずは書かせる習慣を付けていきます。
 - 「CAN-DO リスト」に基づいた目標の達成を目指していきます。

学力の向上に向けて西中では、以下の点に力を入れてきます

① 分かる授業の実践

- ・生徒同士が意見を交流する場面、コミュニケーションをとる場面等、話し合い活動を取り入れます。
- ・授業において、ねらいを明確にし、探究的な課題を提示していきます。

② 家庭学習の充実

- ・家庭学習と授業のサイクル化を目指し、授業の復習となる課題、次の授業に生かせる課題を提示していきます。

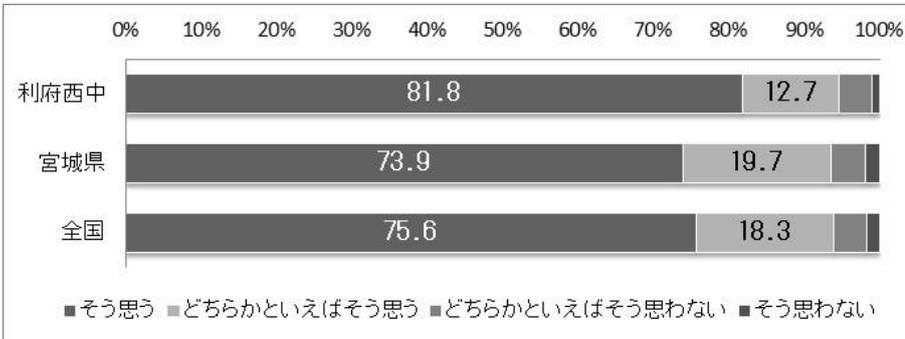
③ 自己有用感の育成

- ・授業において、何が良かったのかを具体的に認め、褒め、意識付けをしていきます。
- ・生徒同士が認め合う場面を設定していきます。

3 学習状況調査の結果

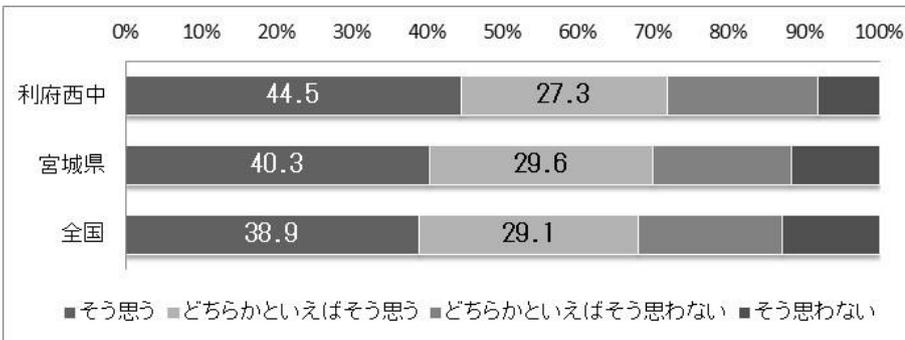
(1) よい傾向が見られる項目 (数値は%ですが、項目によってC, D評価の数値表記を省略しているものがあります)

① ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことはありますか。



全国平均に比べ、「そう思う」と回答している生徒の割合が 6.2 ポイント高くなっています。生徒主体の行事への取組や、部活動への取組の成果と考えています。今後も継続して生徒が主体的に取り組める行事や特別活動の充実を図っていきます。

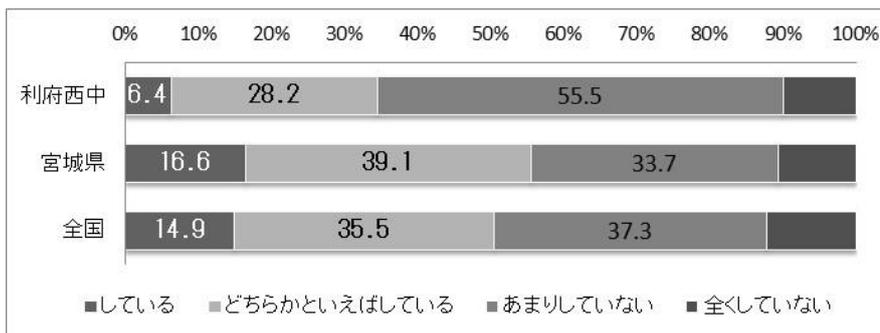
② 読書は好きですか。



全国平均に比べ、「そう思う」と回答している生徒の割合が 5.6 ポイント高くなっています。本校の取組である毎朝 10 分間の朝読書や、学校ボランティアによる読み聞かせや図書室の充実など読書活動の推進の成果と考えます。今後も継続して取り組んでいきたいと考えます。

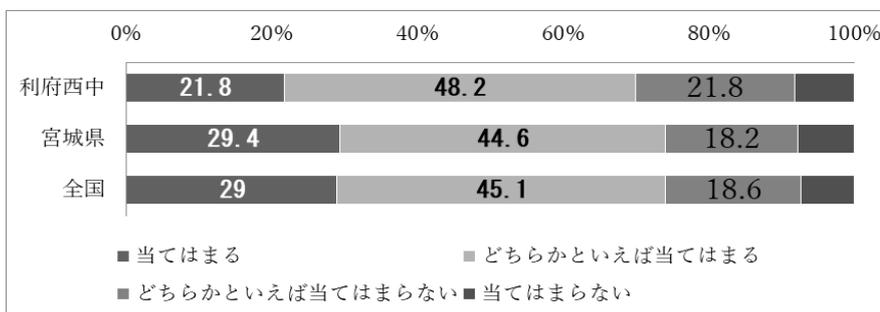
(2) 改善が必要と思われる項目

① 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。



全国平均に比べ、「している」と回答している生徒の割合が 8.5 ポイント低くなっています。今後、家庭学習と授業のサイクル化を目指し授業の復習となる課題や次の授業に生かせる課題を生徒に提示していきます。また、定期考査前には、毎日の学習状況について担任がチェックコメントを入れ意識付けをさせることを今後も続けていきます。

② 自分には、良いところがあると思いますか。



全国平均に比べ、「当てはまる」と回答している生徒の割合が 7.2 ポイント低くなっています。今後も、授業等で生徒一人一人を認め、褒める声掛けを続けていきます。何が良かったのか具体的に示し、共感的な人間関係を目指し、自己有用感の育成に努めていきます。